

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 3 例(感染地域:ベトナム 1 例、カンボジア 1 例、ケニア 1 例)、腸チフス 2 例(感染地域:インド 1 例、インドネシア 1 例*)、パラチフス 1 例(感染地域:インドネシア*) *腸チフスとパラチフスの重複感染
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 39 例(うち有症者 19 例、HUS 1 例)[感染地域:すべて国内 国内の多い感染地:広島県 13 例、大阪府 5 例 年齢群:10 歳未満(15 例)、10 代(1 例)、20 代(9 例)、30 代(8 例)、40 代(2 例)、50 代(1 例)、60 代(2 例)、70 歳以上(1 例) 血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(20 例)、O157 VT2(8 例)、O26 VT1(6 例)、O157 VT1(2 例)、O111 VT1(1 例)、その他/不明(2 例)]
- 4 類感染症: オウム病 1 例(感染源:不明、感染地域:タイ)、つつが虫病 20 例(感染地域:鹿児島県 6 例、千葉県 2 例、岐阜県 2 例、長崎県 2 例、青森県 1 例、福島県 1 例、神奈川県 1 例、愛知県 1 例、三重県 1 例、高知県 1 例、熊本県 1 例、大分県 1 例)、レジオネラ症 7 例(すべて肺炎型)[年齢群:50 代 3 例、60 代 2 例、80 代 1 例、90 代 1 例 感染地域:群馬県 1 例、東京都 1 例、新潟県 1 例、長野県 1 例、静岡県 1 例、岡山県 1 例、鹿児島県 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 8 例(腸管アメーバ症 6 例、腸管外アメーバ症 2 例)[感染地域:すべて国内 感染経路:経口 1 例、性的接触(異性間・同性間不明)2 例、不明 5 例]、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例(ともに孤発性プリオン病古典型)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例(血清群:A 群 2 例、B 群 1 例 年齢群:60 代 1 例、70 代 1 例、80 代 1 例)、後天性免疫不全症候群 10 例(無症候 8 例、AIDS 1 例、その他 1 例)[感染地域:国内 9 例、国外(国不明)1 例 感染経路:性的接触 9 例(異性間 2 例、同性間 7 例)、不明 1 例]、梅毒 10 例(早期顕症 I 期 4 例、早期顕症 II 期 3 例、無症候 3 例)、破傷風 2 例(60 代、70 代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例(遺伝子型:VanA__菌検出検体:便)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 43 週以降、増加が続いている。都道府県別では宮崎県(3.27)、大分県(0.86)、岐阜県(0.72)、広島県(0.72)が多い。

小児科定点報告疾患:RS ウイルス感染症は 1,887 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 71%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 42 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では北海道(2.0)、山形県(1.7)、富山県(1.5)、秋田県(1.4)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 42 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では北海道(4.4)、新潟県(4.4)、鳥取県(3.7)、大分県(3.6)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 39 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では福井県(41.4)、愛媛県(37.2)、埼玉県(31.4)、富山県(31.1)、宮城県(28.9)、山口県(28.8)が多い。水痘の定点当たり報告数は第 43 週より増加が続いている。都道府県別では福井県(4.1)、宮崎県(3.8)、大分県(3.5)、宮城県(3.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では山形県(3.4)、大分県(2.8)、島根県(1.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は 2 週連続して増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では岩手県(1.10)、富山県(0.90)、埼玉県(0.81)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では北海道、群馬県、神奈川県、新潟県、滋賀県、奈良県、高知県、宮崎県から各 1 例の報告であった。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では島根県(0.22)、岩手県(0.21)、宮城県(0.21)が多い。麻疹の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では茨城県から 2 例、神奈川県、山梨県、静岡県、愛知県から各 1 例の報告であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(3.4)、青森県(2.4)、長野県(2.4)が多い。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県(3.1)、群馬県(2.6)、大阪府(1.7)、愛媛県(1.7)が多い。成人麻しんは、埼玉県から 1 例の報告があった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
	インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌 A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん
(定点当たり)																					
愛媛県	.3	.1	2.1	37.2	2.3	.5	.5	1.0			.0	.5	2.9			1.7					
香川県	1.6	.5	.9	18.7	2.5	.1	.4	.4				.5	.3								
徳島県	.5	.3	1.7	21.1	1.7	.3	.2	.9				1.0									
高知県	.1	.1	2.4	22.3	1.7	.1	.2	.5	.0			.9	.3	1.3	.1	.3			.1		
全国	.1	.6	.5	2.1	22.2	1.9	.5	.4	.6	.0	.0	.9	.7	.0	.0	.6	.0	.0	.6	.0	.0
北海道	.0	1.5	2.0	4.4	9.8	2.9	.7	.6	.5	.0	.0	1.1	.1	.8							
東北	.0	.6	.7	2.0	20.5	2.3	1.0	.5	.6		.1	1.3	.6	.0	.0	.8	.1	.8	.0	.0	.0
関東	.1	.5	.3	2.0	27.3	1.6	.4	.5	.6	.0	.0	.6	.1	1.0	.0	.1	.8	.0	.8	.0	.0
甲信越北陸	.1	.2	.8	2.8	25.8	1.8	.5	.5	.6	.0	.0	1.9	.0	.3	.0	.0	.8	.0	.8	.0	.0
東海	.2	.4	.5	2.1	20.1	1.8	.4	.5	.5		.0	.8	.3	.1	.4						
近畿	.1	.6	.2	1.5	22.3	1.8	.5	.3	.5	.0	.0	.9	.4	.1	.5						
中国四国	.2	.8	.4	2.0	22.4	1.9	.2	.2	.6	.0	.0	.7	.9	.0	.9	.0	.0	.5	.0		
九州沖縄	.5	1.0	.5	2.2	16.6	2.1	.9	.2	.8	.0	.0	1.0	.1	.8	.0	.1	.4				

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(12月13日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第49週 (2006.12.4 ~ 12.10)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																						
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢 (E型及びA型肝炎を除く)	(2)ウイルス性肝炎	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
第49週報告数	全 国		3	2	1	39				1					20											7	8			2	3	10					10	2		1			
	四 国	愛 媛 県																																									
		香 川 県																										1															
		徳 島 県																																									
		高 知 県														1																							2				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					1																																				1
		東 北 関 東					3			1						2											2	6				1	1	6				1	1				
		甲信越北陸																									2													1			
		東 海 近 畿			1		1									5											1												2				
		中国 四 国					15									1											1	1											2				
九 州 沖 縄			1			7									10																							3					
週 推 移	全 国		3	2	1	39				1					20											7	8			2	3	10						10	2		1		
	49週		3	2	1	39					1				20											7	8			2	3	10						10	2		1		
	48週		12	1	1	32	1		2						17											11	6	3	1	1								3	1		4		
	47週		2	1		38			1				1		18			1								11	7	2			2	1	12					4		1			
46週		3			49	2		3	1	1				24	2	2									3	11	1	2		1	1	10					6	1		2			
2006年累積数	全 国	46	460	70	24	3762	63		307	20	22	2	2	2	329	53	44	7	5		2	58			12	479	23	693	263	150	16	161	103	1222	82	14		584	111		73		
	四 国	愛 媛 県		6	2		16			4					1		8									2	4	4	1	1	3			7				4	1				
		香 川 県					20			1		3	2													3	4			1		4						12					
		徳 島 県					49			1								1										5			1							4	1				
		高 知 県		2	1		3			3						4		3	1								2	2	4	1					3			28	1				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		2	3		80	19		13	19					1										3	20	24	4	8	3	7	7	26	1				8	6		3	
		東 北 関 東	2	18			370	2		10		3				133										1	30	25	20	7	6	4	35			2		39	3		5		
		甲信越北陸	7	36	3	2	300	6		24		1				49	3								2	73	16	21	13	1	22	5	50	3	1			25	7		4		
		東 海 近 畿	5	38	9	3	448	5		38	1	2				28	7	1								2	76	80	30	18		18	15	150	4	1		66	8		11		
		中国 四 国	4	16	3		411	3		40		3	2			25	1	16	2								36	33	28	19	1	19	7	41	4			69	14		4		
九 州 沖 縄		4	40	4		708	6		27						49	5	18	5								34	34	25	18		19	4	60	7	3		120	31		5			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.12.13集計)